

# 私たちの町の遺跡

## 二本木発掘物語

### ■第2話：どうやって発掘するの？

TVニュースや新聞などで「〇〇の発掘調査で日本最古の△△が発見されました」なんて報道がありますよね。みなさんこれを見て「ほほおおお」と感心したり、「興味ない」と一刀両断したりされるわけですが、発掘調査ってどうやってるか知ってますか？たぶんハケで土を払ってるイメージが浮かぶでしょう。ん～当たらずしも遠からず、でも近くない。発掘調査の目的は、「いつ、どこで、だれが、なにを、どうした」を明らかにすることで、決して宝探しではありません。ですから「何がみつかった」ばかりでなく、「どこから、どんな状況で出土した」がとても大事になってきます。作業手順を簡単に言うと、新しい土から順番に取り除いていくということになります。基本的に下の方が古い地層なので、上位の土から掘っていけばいいわけです。たいてい一番上は現代の堆積土ですから、ここで活躍するのはショベルカーです。土器や石器が入ってる地層では、遺物を見逃さないようにスコップを使い、住居など複雑な形の穴が見えてくると、穴の形通りに掘りたいので移植ゴテに持ちかえます。その後やっとハケを使うか使わないか位です。だんだん道具が小さくなっていくのがわかるでしょう。それとハケを使うまでにかなりたくさん土を運びました。そう発掘作業の大半は土を掘って、運ぶ肉体労働です。その順番を間違えないように、土の中から土器と情報を集めていくのが発掘調査の実態なのです。

熊本市文化振興課埋蔵文化財調査室 原田範昭氏

発掘は  
力仕事だね！

